

作成日 2020/11/01

改訂日 2024/05/27

安全データシート (SDS)

1. 化学品等及び会社情報

化学品の名称 (日本語)	白馬 サビトリ
製品コード	104181
供給者の会社名	株式会社万立
住所	大阪府柏原市片山町 13-59
電話番号	072-977-0898
電子メールアドレス	info@mannryu.com
ファックス番号	072-977-0899
緊急連絡電話番号	090-9984-1577
推奨用途	金属サビトリ・アカトリ
使用上の制限	アルミニウムへの使用は禁止する
国内製造事業者等の情報	同上

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない (分類対象外)
	エアゾール	区分に該当しない (分類対象外)
	酸化性ガス	区分に該当しない (分類対象外)
	高压ガス	区分に該当しない (分類対象外)
	引火性液体	分類できない
	可燃性固体	区分に該当しない (分類対象外)
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	区分に該当しない (分類対象外)
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	区分に該当しない (分類対象外)
	有機過氧化物	分類できない
	金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性	鈍性化爆発物	分類できない	
	急性毒性（経口）	区分3	
	急性毒性（経皮）	分類できない	
	急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない（分類対象外）	
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない	
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない	
	皮膚腐食性／刺激性	分類できない	
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない	
	呼吸器感作性	分類できない	
	皮膚感作性	区分1	
	生殖細胞変異原性	分類できない	
	発がん性	分類できない	
	生殖毒性	分類できない	
	生殖毒性・授乳影響	分類できない	
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分1（全身毒性）	
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分2（血液系、肝臓）	
	誤えん有害性	分類できない	
	環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）	分類できない
		水生環境有害性 長期（慢性）	分類できない
オゾン層への有害性		分類できない	

GHS ラベル要素

絵表示（ピクトグラム）



注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと有毒

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

全身の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による血液系、肝臓の障害のおそれ

注意書き

安全対策

取扱う前に、製品安全データシートをよく読んでから作業すること。
 （混合の危険性）本物質は還元剤であり、酸化剤（過酸化水素、ブロム酸ソーダ等）と混合すると酸素を発生し危険である。場合によっては発火の恐れもある。
 取り扱い後は手をよく洗うこと。

<p>応急措置</p>	<p>この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 飲み込んだ場合は、直ちに医師に連絡すること。 口をすすぐこと。 皮膚に付着した場合は、直ちに多量の水と洗剤で洗浄すること。 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合は、医師の治療を受けること。 再使用する前に、汚染された衣服は洗濯すること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合は、医師に連絡すること。 気分が悪い時は、医師の診察／手当てを受けること。</p>
<p>保管</p>	<p>施錠して保管すること。 直射日光を避け冷暗所に密栓して保管すること。 酸化剤と同一場所には保管しないこと。</p>
<p>廃棄</p>	<p>内容物や容器は、該当法規に従い都道府県知事等の許可を受けた専門の産業廃棄物処理認定業者に委託して処理すること。</p>

3. 組成及び成分情報

単一物質・混合物（製品）の区別：混合物

組成物質名	分子式	CAS登録番号	化管法指定化学物質の種別	化審法官報公示整理番号	安衛法官報公示整理番号	含有量
チオグリコール酸アンモニウム	HSCH ₂ COONH ₄	5421-46-5	非該当	2-1355（チオグリコール酸）、 1-391（アンモニア）	非該当	29.5 ～ 31.0%
脂肪族系有機溶剤	非開示	非開示	非該当	非開示	非該当	12.0 ～ 15.0%
非イオン性界面活性剤	非開示	非開示	非該当	非開示	非該当	0.5 ～ 1.0%
金属イオン封鎖剤	非開示	非開示	非該当	非開示	非該当	0.2 ～ 0.4%
香料	非開示	非開示	非該当	非開示	非該当	微量
色素	非開示	非開示	非該当	非開示	非該当	微量
精製水	非開示	非開示	非該当	非開示	非該当	全量 100%

4. 応急措置

吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所に移す、症状が続く場合は医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	直ちに多量の水と洗剤で洗浄する。医師の診察/治療を受ける。

眼に入った場合	コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外し、流水で 20～30 分間洗浄する。医師の診察/治療を受ける。
飲み込んだ場合	口をすすぐ。意識のない人の口には、何も与えない。直ちに医師に連絡する。医師の指示がない場合には、無理に吐かせない。
応急処置をする者の保護に必要な注意事項	個人用保護具を着用すること
医師に対する特別な注意事項	情報なし

5. 火災時の措置	周辺火災：本物質と過酸化水素等の酸化剤は別の場所に保管し周辺に散水して類焼を防ぐ。通常火災と同様、水にて冷却消火を行う。
適切な消火剤	通常火災と同様、水にて冷却消火を行う。
使ってはならない消火剤	情報なし
火災時の特有の危険有害性	有害物質（亜硝酸ガス（一酸化窒素）、硫酸化物、一酸化炭素、二酸化炭素）が放出される可能性がある。
特有の消火方法	情報なし
消火活動を行う者の特別な保護具	消火作業の際は、適切な自給式の呼吸器用保護具、眼や皮膚を保護する防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項	周囲に注意喚起し、避難させる。漏出区域に入るときは保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。
環境に対する注意事項	水域に対する危険性は低い。非常に多量に水、排水、下水、または地中に入った場合は、自治体に連絡する。
封じ込め及び浄化方法・機材	乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
二次災害の防止策	環境規制に従って、汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、強酸化剤との接触を避ける。
局所排気・全体換気	「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体換気を行う。
安全取扱注意事項	皮膚、眼、衣服との接触を避け、個人用保護具を着用する。 容器を転倒、落下させ衝撃を与える、又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉じんや蒸気を発生

させない。

使用後は容器を密栓する。取り扱い後は手や顔をよく洗い、うがいを
する。

指定された場所以外では飲食、喫煙はしない。休憩場所では手袋その
他汚染した保護具を持ち込まない。取り扱い場所には、関係者以外の
立ち入りを禁止する。「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管

混触禁止物質

強酸化剤

保管条件

直射日光を避け、冷暗所に密栓して保管する。酸化剤と同一場所で保
管しない。保管容器はポリエチレン等の樹脂製、又はガラス及び陶器
製の容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

作業場所には適切な局所排気装置等を設置する。

取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設ける。

洗浄設備の位置を明瞭に表示する。

管理濃度（厚生労働省）

未設定

保護具

眼 サイドガード付き保護眼鏡

皮膚及び身体

適切な保護衣、顔面用の保護具を着用すること

呼吸器

状況に応じて適切な呼吸用保護具を着用すること。

手

適切な保護手袋を着用すること

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

液体

色

黄色透明

臭い

香料臭

粘度

データなし

比重

1.05～1.15 (25°C)

凝固点

データなし

沸点

データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

データなし

引火点

データなし

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

7.0～7.8 (25°C)

動粘性率

データなし

溶解度	水に任意の割合で溶解
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
安定性	通常の手扱いは安定である。長期保管において純度低下がある。
危険有害反応可能性	火災の場合、有害物質が放出される可能性がある。 亜硝酸ガス（一酸化窒素）、硫黄酸化物、一酸化炭素、二酸化炭素
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	強酸化剤、
危険有害な分解生成物	亜硝酸ガス（一酸化窒素）、硫黄酸化物、一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	ECHAによる71% チオグリコール酸アンモニウム LD50 換算値 100mg/kg など各成分より推定値を計算し、区分3とした。
急性毒性（経皮）	データ不足のため分類できない
急性毒性（吸入：気体）	GHS 定義による気体ではない
急性毒性（吸入：蒸気）	データ不足のため分類できない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	データ不足のため分類できない
皮膚腐食性／刺激性	データ不足のため分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データ不足のため分類できない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	チオグリコール酸アンモニウム（区分1A）を0.1%以上配合しているため区分1とした。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない
発がん性	データ不足のため分類できない
生殖毒性	データ不足のため分類できない
生殖毒性・授乳影響	データ不足のため分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分1（全身毒性） 区分1（全身毒性）のチオグリコール酸アンモニウムを10%

特定標的臓器毒性（反復ばく露）	以上配合しているため区分1（全身毒性）とした。 区分2（血液系・肝臓） 区分2（血液系・肝臓）のチオグリコール酸アンモニウムを10%以上配合しているため区分2（血液系・肝臓）とした。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない

1.2. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）	データなし
水生環境有害性 長期（慢性）	データなし
生態毒性	データなし
残留性	データなし
分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

1.3. 廃棄上の注意

産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
 該当法規に従って廃棄物を処理する。（国、都道府県並びにその地方の法規条例に従う）
 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1.4. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	2810
品名（国連輸送名）	その他の毒物（液体）（有機物）、n. o. s
国連分類（危険有害性クラス）	クラス 6.1
容器等級	Ⅲ

国内規制がある場合の規制情報

海上規制情報	船舶安全法に定められている輸送方法に従うこと。
航空規制情報	航空法に定められている輸送方法に従うこと。
陸上規制情報	消防法、労働安全衛生法等に定められている輸送方法に従うこと。

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

容器の破損漏れがないことを確かめ、衝撃、落下、破損の内容に積み込み、荷崩れ防止を行い

輸送中は直射日光を避ける。

15. 適用法令

労働安全衛生法	通知対象物質に該当しない
消防法	該当しない
PRTR 法	該当しない
毒物劇物取締法	該当しない

16. その他の情報

参考文献

化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）改訂9版（国際連合）

GHS 対応 化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS 提供制度（厚生労働省）

備考

本記載内容は本製品に関するものであり、危険・有害性化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う業者に提供されるものです。

また、情報の正確性、信頼性、あるいは完全性について保証するものではありません。

記載内容は現時点で入手出来る情報に基づいて作成してありますが、新しい知見により改訂されることがあります。取扱う業者は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱い等の実態に適切な処置を取ることが必要であることを理解した上で、使用されるようお願いします。